

# タイの日本語教育 このままでOK mai?

地球社会共生学部1A115085

義道 希実

# テーマ概要

思いの外日本語教育が普及

学生のレベルもたかそう

# 方法

# インタビュー

- 1 生徒
- 2 日本人教師
- 3 タイ人教師

授業に参加

# 資料収集

日本語能力試験について  
国際交流基金



結果

課題多し

タイ人と日本人の

溝

それは国民性の違いからくる

## タイ人

時間にルーズ

直前に決まる

・  
・  
・

適当 (楽観的)

## 日本人

時間を守る

用意周到

・  
・  
・

慎重

仕事量もかなり違う

タイ人

教える仕事

研究

生徒指導

経営（私立の場合）

忙しすぎる

日本人

教える仕事

消化不良



人員不足

イメージ・待遇がよくない

まずタイ人

ほんっとうに忙しいのに給料が少ない

(同じ日本語レベルで他にもっと給料のいい仕事がたくさんある)

教育以外の仕事が多すぎて”教えること”に集中できない

日本人は

給料が安い

仕事がなくとも拘束される

到達点がわからない

by 日本人R先生

カリキュラムがない  
教育方針についての意見交換の場がない

それぞれの先生がそれぞれ授業している

一貫性がなく効率が悪い

学校である意味





解決策はないか

給料、教育システムになんらかの変革が必要

例えば

”教えること”以外の「経営」「事務」  
に特化した職員を採用する

日本人教員に対し、副業を認める

Mr.H's idea

日本人教員の採用を増やし、  
日本人教員の”孤独”を改善する

そもそも論だが

タイの地で日本語を教えているのだから

タイ人日本人教員同士

お互いに歩みよる努力をする

定期的に教育方針についての意見交換をし  
全教員が共通のゴールを見据える

タイ人・日本人の合理的な分業を目指す



日本語を学びたい学生はどんどん増えていく

これまでの形式にとらわれない  
抜本的な改革が必要不可欠

学生の”学びたい”の力は偉大

学生の”学びたい”が消えない限り  
タイにおける日本語教育は終わらない

タイ人教師

日本人教師

みんなで作る教育

学生